

第112回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当座預金	株式申込証拠金	受取手形
売掛	金	仮払法人税等	備品	支払手形
買掛	金	前受金	借入金	未払法人税等
資本金		株式払込剰余金	利益準備金	配当平均積立金
新築積立	金	別途積立金	繰越利益剰余金	売上
受取手数料		仕入割引	仕入	引取費
法人税等		保管料	売上割引	未払配当金

1. 新株 100 株を @ ¥ 50,000 で発行し、その全額を、申し込み期日までに当座預金に振り込まれていた株式申込証拠金により充当した。なお、払込額のうち、会社法の規定に定める最低限度額を資本金に組み入れた。
2. 得意先犬童商店から当座預金に、3 週間前の売上にかかわる売掛金の振込みがあった。この振込額は、売上後 3 週間以内に代金が決済されていたので、当初の契約どおり売上高 ¥ 1,000,000 の 5%を控除した額である。
3. 決算に際し、当期分の法人税等 ¥ 500,000 を計上した。なお、当社はすでに小切手を振り出して ¥ 300,000 を中間納付しており、仮払法人税等として処理している。
4. (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
5. 株主総会の決議により、当期期首の繰越利益剰余金 ¥ 10,000,000 を配当金 ¥ 1,000,000、新築積立金 ¥ 2,000,000 として配当及び処分した。なお、利益準備金は会社法の定める額を計上した。ただし、この会社の資本金は ¥ 40,000,000 であり、資本準備金と利益準備金の合計は ¥ 9,500,000 である。